

医療法人城東桐和会タムス瑞江病院における看護師負担軽減計画【2025年度】

令和7年4月現在の看護職員の勤務状況 ①看護師数 常勤名勤 55名 非常勤 1名 ②ケアワーカー数 常勤 16名 非常勤 1名 ②看護師平均残業時間 平均 40h(月) ③平均夜勤回数 平均月4回	●目標● 1.業務の効率化を通じた残業時間の削減:記録類の見直しを行い簡素化に務める。 2.タスクシェアリングの推進:タスク分担を明文化し、マニュアルを作成する。 3.休憩・リフレッシュ時間の確保:シフト調整を行い連続した休憩時間を確保する。
--	--

分野	現状	目標
業務効率化	患者の重症度と多様性 重症患者が多く、早急な対応が必要なため、業務の優先順位を適切に管理する必要がある。 多岐にわたる業務 患者ケアだけでなく、記録、報告、薬剤管理、家族対応など多くの付随業務が発生している。	記録・事務作業の効率化・自動化 業務の役割分担とタスクの標準化
タスクシェアリング	看護師の業務過多 医療行為だけでなく、記録作業、物品管理、清掃、患者搬送などの雑多な業務が看護師の負担を増加させている。 慢性的な人手不足 高齢化や医療需要の増大により、看護師1人あたりの業務量が増加。重症患者の対応や急変リスクが高く、迅速な判断と対応が求められる。	休憩時間確保のためのシステムと運用の改善 ストレスケア体制の強化と職場環境の改善
メンタルヘルスケア	高ストレス環境 患者の命に関わる緊張感が常にあり、感情労働の負担が大きい。 患者やその家族からの期待や要求に応えるプレッシャーが高い。 過労とバーンアウト 長時間労働や夜勤の連続による身体的な疲労が、精神的負担を増幅させる。休憩が十分に取れないことで、疲労が慢性化。 人間関係の課題 チーム医療におけるコミュニケーションの問題や、同僚間での対立がストレスの要因となる場合がある。	定期的なメンタルヘルスチェックと早期フロー体制の構築 感情労働・プレッシャーを緩和するサポート体制の強化 良好なチームコミュニケーションを促進する職場文化づくり
教育・研修支援	多岐にわたる業務の要求 患者の急変対応や高度医療機器の操作など、多岐にわたるスキルが求められる。 教育不足により、現場での対応力にばらつきが生じやすい。 人員不足による教育の遅れ 業務多忙により、現場での教育に十分な時間を割けない状況がある。	教育カリキュラムの標準化と段階的なスキルアップ支援 OJT(現場教育)とOFF-JT(集合研修)のハイブリッド化 教育担当者の負担軽減と支援強化
夜勤業務の負担軽減	休憩時間の確保が困難 夜勤回数は4回/月と適正であるが、緊急入院等で連続した休息が十分に取れていない。 夜勤明けの残業が30分～1時間発生することがある	十分な休憩時間や快適な職場環境を確保し、心身の負担を軽減する。